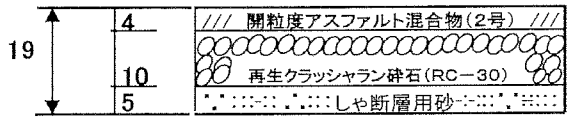
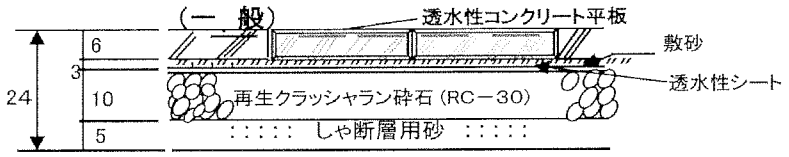
歩道舗装（一般部）

アスファルトコンクリート舗装（19型）



コンクリート平板舗装（24型）



インターロッキングブロック舗装（23型）



表層材料名 / 区分 / 名称	開粒度アスファルト混合物2号		コンクリート平板	インターロッキングブロック	
	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅰ	区分Ⅰ	区分Ⅱ
表層工	4	4	透水性コンクリート平板 6 敷砂 3	透水性インターロッキングブロック 6 敷砂 2	透水性インターロッキングブロック 8 敷砂 2
透水性シートの使用	－	－	使用	使用	使用
路盤工 RC-30またはC-30 (cm) ※	10	15	10	10	15
フィルター層しゃ断層用砂	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
舗装合計厚 (cm)	14 (19)	19 (24)	19 (24)	18 (23)	25 (30)

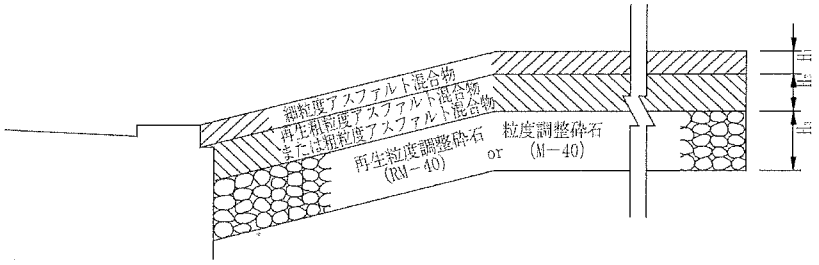
ここで、　RC-30：再生クラッシャラン
　　C-30：クラッシャラン

(1) 透水性シートは、60g/m²を標準とする。
区分Ⅰ・・・・歩道や自転車道で、専ら歩行者および自転車の通行を想定した場合。
区分Ⅱ・・・・公園や商店街の歩行者系道路で、歩行者や自転車以外に管理用車輌や限定された一般車輌の通行を想定した場合。

※　原則として、再生材を使用する。
　　ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

歩道の車乗入れ部舗装構造

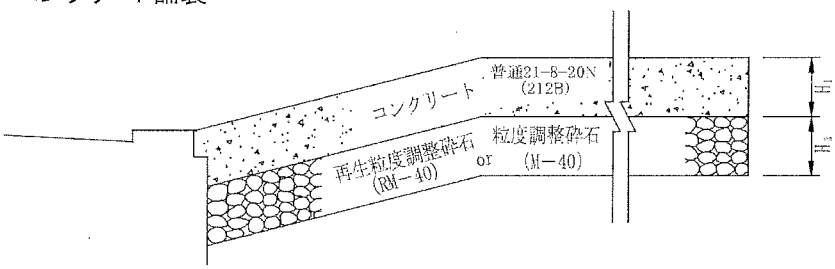
アスファルトコンクリート舗装



名称	使用材料名	A、B、C型 舗装厚	D型 舗装厚	注意事項
表層工	細粒度アスファルト混合物	5	5	タックコート工 (必要に応じて)
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または粗粒度アスファルト混合物	—	10	プライムコート工
路盤工	再生粒度調整砕石 (RM−40) または 粒度調整砕石 (M−40)	30	35	
路床				路床転圧工

1. 歩道幅員が2.50m未満の場合も本表に準ずる。
2. E型の舗装は、特殊なものとし原則的には設置しない。やむを得ず使用の場合は別途指示するものとする。
3. 路盤上には、アスファルト乳剤 (PK-3) 1.2ℓ/m² を使用する。
4. 基層上には、必要に応じてタックコートを使用する。
5. 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。
6. 原則として再生材を使用する。
   ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

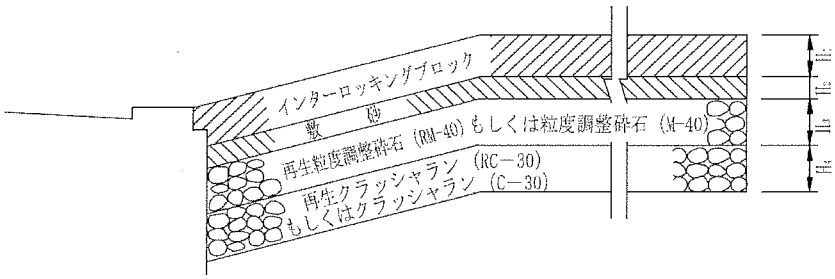
コンクリート舗装



名称	使用材料名	A、B、C型 舗装厚	D型 舗装厚	注意事項
表層工	コンクリート 普通21-8-20N(212B)	15	20	プライムコート
路盤工	再生粒度調整砕石 (RM−40) または 粒度調整砕石 (M−40)	15	20	
路床				路床転圧工

1. 歩道幅員が2.50m未満の場合も本表に準ずる。
2. E型の舗装は、特殊なものとし原則的には設置しない。やむを得ず使用の場合は別途指示するものとする。
3. 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。
4. 原則として再生材を使用する。
   ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

乗入れ舗装30・35型(インターロッキングブロック・コンクリート平板舗装)



名称	使用材料名	A、B、C型 舗装厚	D型 舗装厚	注意事項
表層工	インターロッキングブロック	8	8	
サンドクッション	敷砂	2	2	
路盤工	再生粒度調整砕石 (RM−40) または粒度調整砕石 (M−40)	10	10	
	再生クラッシャラン (RC−30) またはクラッシャラン (C−30)	10	15	
路床				路床転圧工

1. 歩道幅員が2.50m未満の場合も本表に準ずる。
2. E型の舗装は、特殊なものとし原則的には設置しない。やむを得ず使用の場合は別途指示するものとする。
3. 表面はハケ引き仕上げとする。
4. 路盤上には、アスファルト乳剤 (PK-3) 1.2ℓ/m² を使用する。
5. 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。
6. 原則として再生材を使用する。
   ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。